

保護者様

第2回 学校評価アンケート結果のお知らせ

松山市立八坂小学校
校長 田中 美紀

学校アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。いただきました御意見を参考にして、これからの学校教育活動に生かしていきます。今後とも引き続き、学校教育活動に御理解・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【肯定率(%)】 ※ 80以下は肯定率が低いととらえる。
 評定4と評定3の合計値です。また、評定平均とは、全回答者の評定平均値です。

※ 下表の評価内容(設問記述の仕方)は、回答4者への表記の仕方(文章)が回答対象者に応じた表記の仕方のため、多少文章表現(言い回し方)に違いがあります。

評価内容		対象			
		肯定率			
		児童	保護者	学校評議員	教職員
教育課程 学習指導	あなた(のお子さん)は、八坂小学校で楽しく学習をしていますか。	96	100	100	100
	八坂小学校は、タブレット端末などの情報機器を学習で積極的に使っていますか。	99	94	100	100
	八坂小学校は、一人一人に合った分かりやすい授業をしていますか。	98	97	100	94
人権・同和 教育・生徒指導	八坂小学校は、いじめや差別を許さない意識や態度を育てていますか。	96	94	100	100
	八坂小学校は、学校生活のきまりを児童に適切に指導していますか。	99	96	100	100
キャリア教育	八坂小学校は、将来の夢や目標をもたせる指導を行っていますか。	90	82	100	100
安全管理	八坂小学校は、けがにつながるような危険箇所に対する指導が適切ですか。	73	88	100	100
保健管理	八坂小学校は、家庭と連携して児童の健康に気を付けて、教育活動に取り組んでいますか。	93	91	100	100
	学校は、「換気の確保」や「手指衛生等の指導」など、状況に応じた感染症対策を適切に行っていますか。	99	94	100	94
特別支援教育	八坂小学校は、一人一人に応じた指導を行っていますか。	97	89	100	100
組織運営	八坂小学校は、全教職員が一体となって教育活動に取り組んでいますか。	—	87	100	100
研修	八坂小学校は、よりよい授業づくりのために取り組んでいますか。	—	91	100	100
保護者・地域 との連携・情報提供	八坂小学校では、保護者の方や地域の方と連携しながら、学習や活動を充実させていますか。	95	95	100	100
	八坂小学校は、学校・学年だよりやホームページ等により、積極的に情報を発信していますか。	—	100	100	100
教育環境	八坂小学校では、充実した教室掲示を行っていますか。	96	95	100	100
幼保小中連携	八坂小学校は、児童や保護者の将来に関すること(進学等)に対する不安に相談に乗ってくれていますか。	—	91	80	100
	八坂小学校は、幼稚園や保育園、中学校等の学習とつながりのある学習指導を行っていますか。	—	72	88	100
	八坂小学校は、幼稚園や保育園、近隣の小学校や中学校と連携し、児童の育成を図っていますか。	—	95	83	94

評価内容		対象			
		肯定率			
		児童	保護者	学校評議員	教職員
豊かな心と 思いやりの心 を育む教育 の推進	あなた（のお子さん）は、学級の友達と共に伸びようとしていますか。	99	97	100	100
	あなた（のお子さん）は、差別やいじめを許さない態度で生活が送れていますか。	96	94	—	100
	あなた（のお子さん）は、いろいろな学年の友達と仲よく遊んだり、活動したりしていますか。	97	99	100	100
健やかな体、 最後までがん ばる子を育て る教育の推進	あなた（のお子さん）は、学校や家庭でタブレットを積極的に活用していますか。	93	90	—	—
	あなた（のお子さん）は、進んで体力づくりに努めていますか。	90	74	—	—
	あなた（のお子さん）は、健康に気を付けて生活を送れていますか。	92	85	—	—
	あなた（のお子さん）は、将来の夢や目標をもっていますか。	92	79	—	—
生活の充実	あなた（のお子さん）は、進んであいさつをしていますか。	96	94	—	—
	あなた（のお子さん）は、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いていますか。	93	67	—	92
	あなた（のお子さん）は、よく読書をしていますか。	92	78	—	100

御回答いただきましたアンケート集計結果から、考察及び対策を下のように考えました。よい点は引き続き継続し、改善点を要する項目については、具体的かつ早期対応できるよう努めてまいります。

【考察（◇全体の傾向 ○高い（よい）点 △低い（悪い）点）と□対策】

- ◇ 第1回目と同様に、児童・保護者・学校評議員・教職員ともに各項目で肯定率が80%を超えている項目が多い。児童・保護者・学校評議員・教職員が、連携して取り組んできた成果であると言える。
- ◇ 児童は、「学習面」「他者とのかかわり」「健康面」は特に肯定率が高い。第2学期は、学校行事もたくさんあり、達成感や成就感を味わうことができたのとらえる。
- 「読書」の保護者の肯定率は、前回から、大きく向上している。委員会等が様々な取組を実施してきた成果が家庭での児童の読書姿に表れたととらえる。今後も児童が読書に親しむ環境整備や各啓発活動で読書のおもしろさの体感、読書習慣が根付くように長期的・継続的に取り組んでいく。
- △ 児童は、「安全管理」の項目が低い。児童目線での施設安全点検等を実施して、その把握・改善を行っていきたい。
- △ 前回より数値は肯定的に上がってはいるが、保護者の「運動習慣」「規則正しい生活習慣」「挨拶」の項目が低い。学校・家庭が連携して、日々行っている「生活チェック」を生かすなど、児童の意識向上・日常化に努めていく。
- 「挨拶」も日頃からの取組が不可欠であり、家庭と連携して常日頃から取り組んでいく。委員会活動や給食時間の放送等を活用して、啓発を行っていく。
- 「安全管理」については、施設管理はもちろん、児童への安全な過ごし方について、日々の生活で啓発や声掛け・指導をしていく。また、児童自身が安全な生活の在り方についての知識や技能を習得できるよう働き掛けていく。
- 「運動習慣」「規則正しい生活習慣」については、啓発活動を通じた意識高揚・継続して取り組み、「最後までがんばる子の育成」「自己管理能力の育成」等に家庭と連携して取り組んでいく。児童自身が成就感や達成感を味わえるように働き掛けていく。